

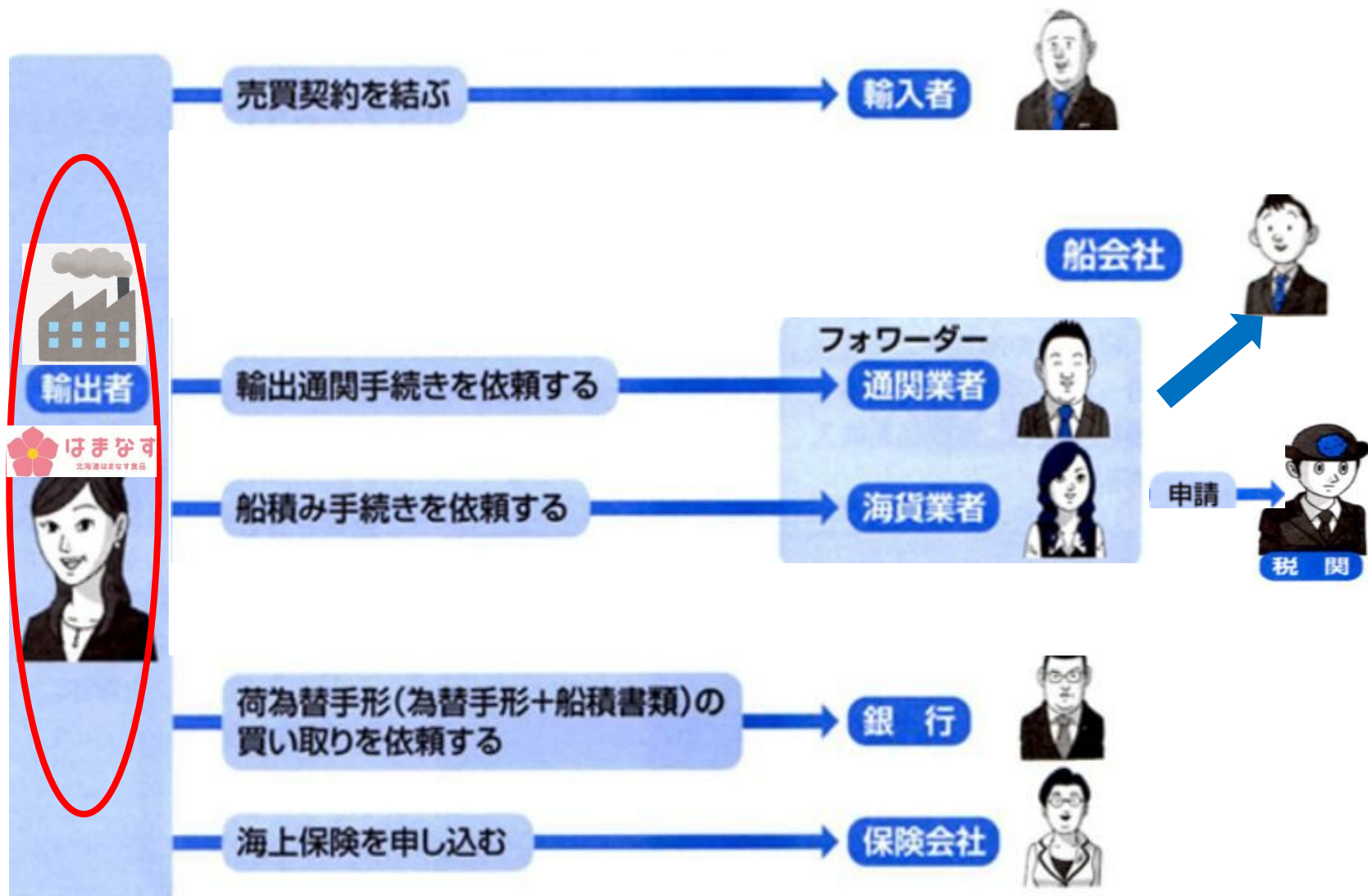
# 北海道輸出促進セミナー2026 輸出へのとりくみについて



2026.5.20

北海道はまなす食品株式会社  
営業部部长 萩原 由希子

# 直接取引時ポジション



- ・ **1993年12月15日設立**

知的障がい者の多数雇用と職業訓練を行うことを目的として、北海道庁の呼びかけに呼応し自治体6団体、民間11社の出資により設立。

- ・ **2005年12月障がい者雇用促進法の子会社特例の承認**  
(コープさっぽろの特例子会社)

- ・ **2017年より、国内外販、海外輸出の本格的取り組み開始。**

知的障がい者の仕事内容も大きく変化。

シール貼りメインなど→生産、機械操作※それぞれの出来る・得意を担当する。

- ・ **2023年7月26日より新工場（北広島市→江別市移転）  
製造スタート**

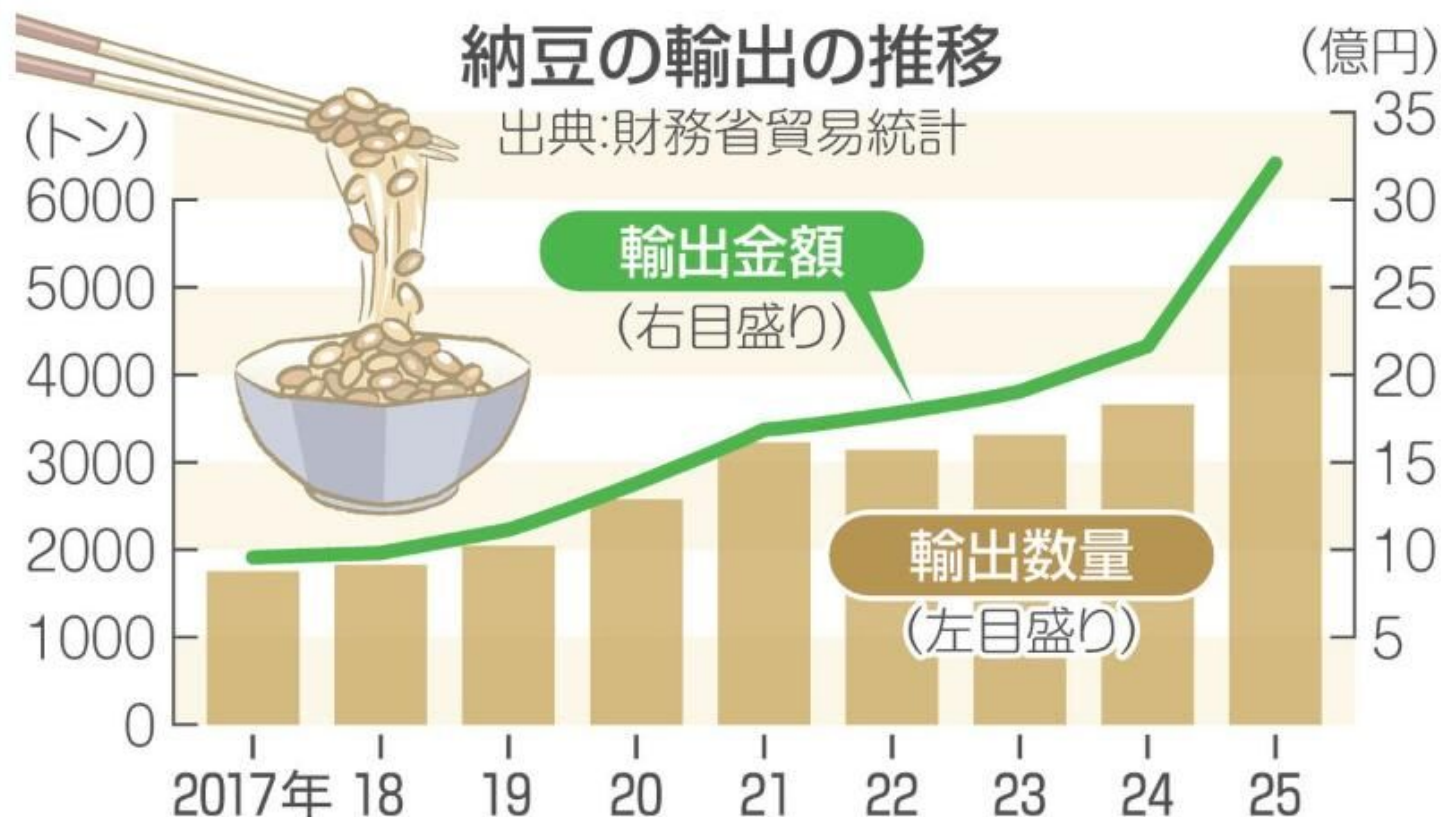
※旧工場で製造能力がマックスに到達して、引合いをお断りすることが  
続いていたため。

- ・ **2026年2月国際基準のFSSC22000取得**



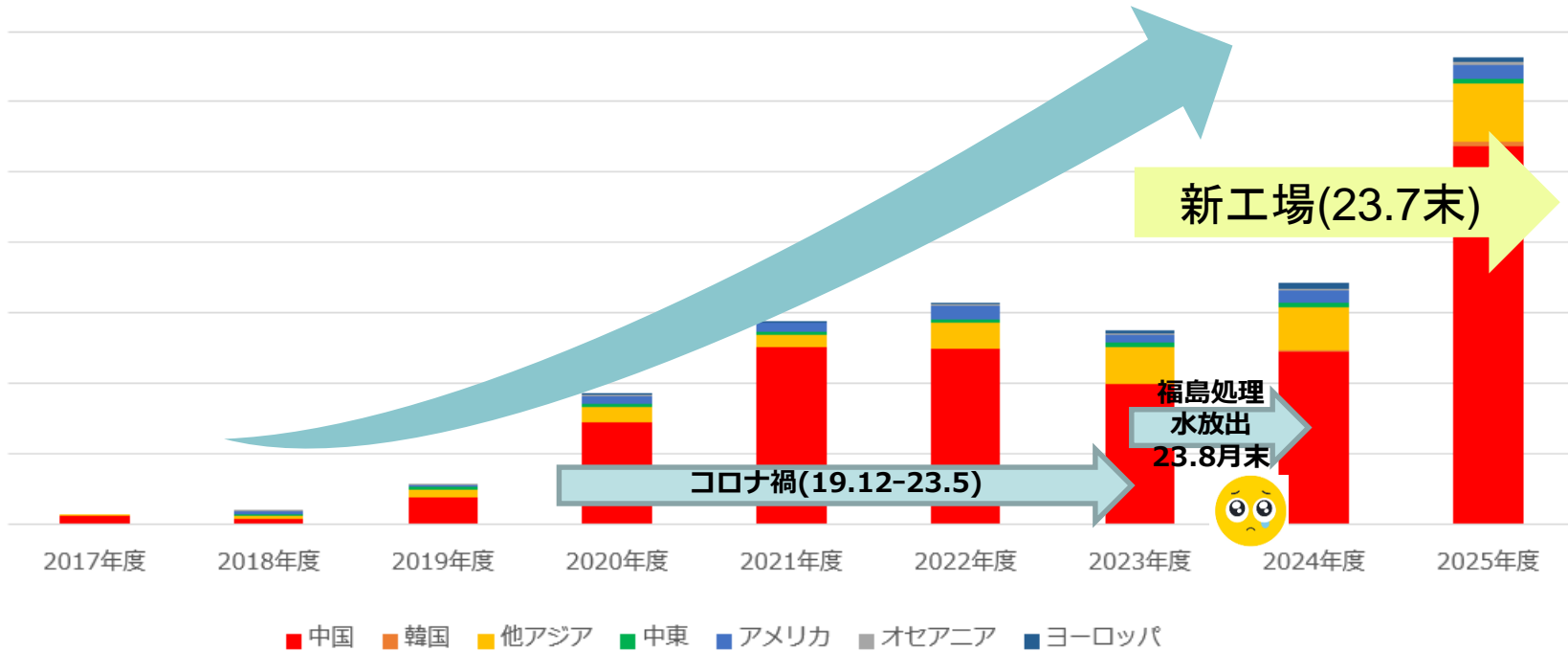
# 日本全体の納豆輸出の推移

- ・財務省の統計データより、2017年→2025年で3倍！
- ・輸出量は合計5,248トン（金額：32億810万円）  
内）中国1,652トン(約31.5%)、次いで、米国1,032トン(約19.7%)



# はまなす売上と輸出売上推移

- ・ 2025年度全体売上14億8千万円（納豆・パック事業）。
- ・ 9年で輸出の売上約60倍UP。
- ・ 中国向けのみ売上で約54倍UP。



# 江別新工場（2023年7月末より稼働）

- ・納豆の機械化
- ・巨大冷凍庫設置
- ・製造能力を前工場の倍規模工場へ

↓ 段ボールの自動組み立て・機械による段ボールへ梱包



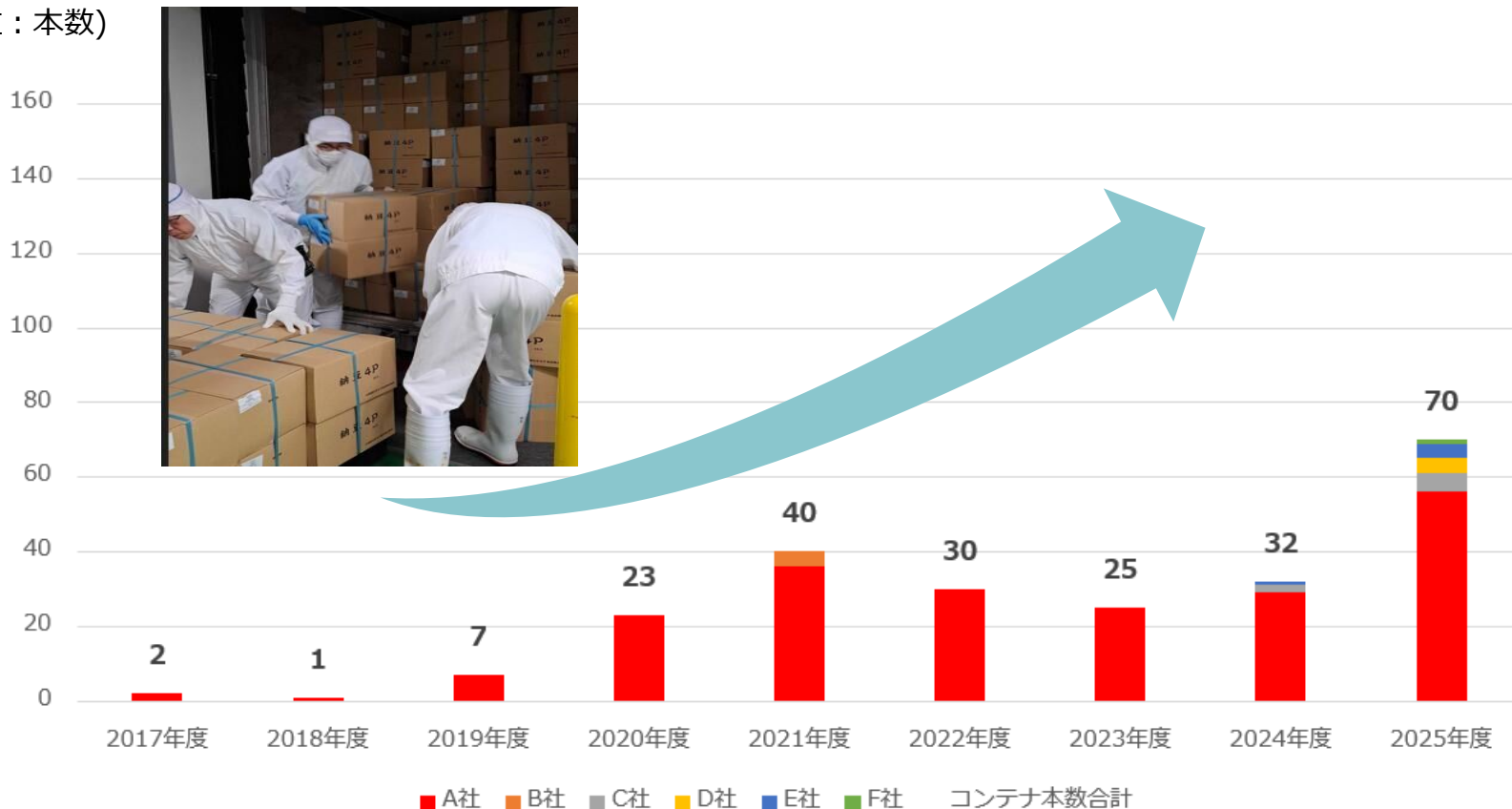
↓ 冷凍庫内



# コンテナ出荷本数推移

- ・ コンテナ出荷本数は9年で35倍2025年度で合計70本
- ・ 輸出の約73%がコンテナ出荷売上で構成されている。
- ・ 貿易条件をCIF（運賃保険込）とEXW（工場渡し）

(単位：本数)



## 縁とむちゃぶりから始まる輸出事業

- 2016年親会社コープさっぽろからの外販強化号令！
- お付き合いのある商社より紹介があり、中国のお客様と直接貿易をすることに。



### 教訓：時に勢いも必要。

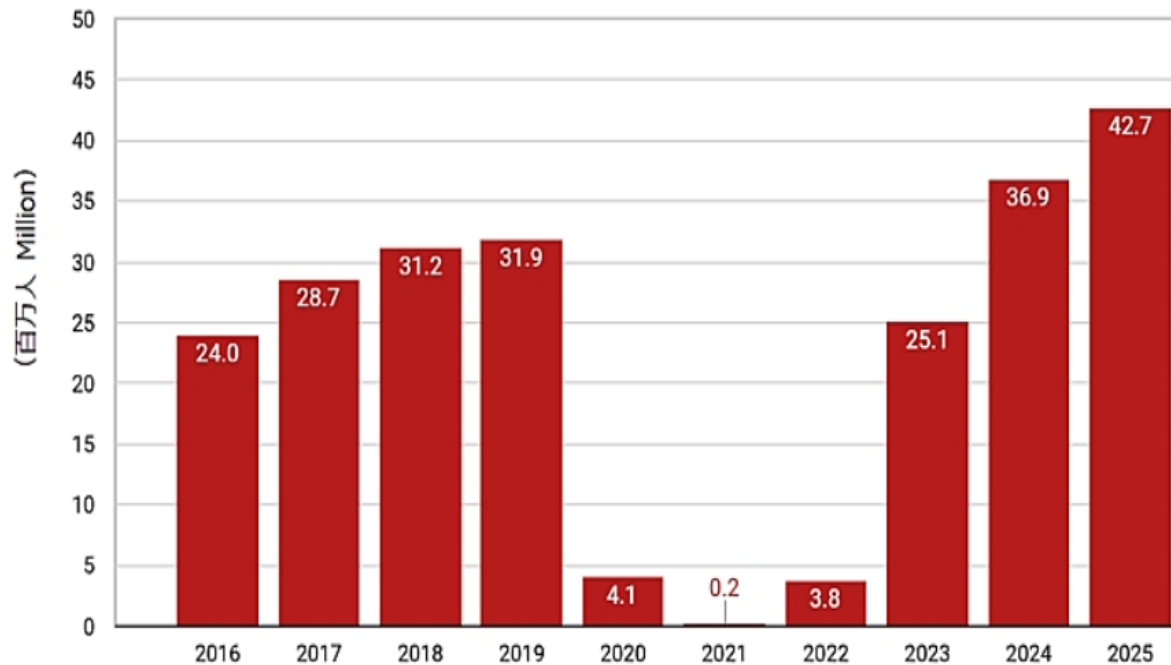
- ・会社が大きくなかったため、チャレンジすることができた。
- ・直接貿易を始めたことで輸出への知識がつき、その後の海外商談はスムーズで間接貿易もスピード感があった。2017年の札幌商工会議所主催の海外バイヤーが来道する「FOODHOKKAIDO商談会」では**13社との成約**となった。

# 納豆の伸びてる理由

## 景気が良くても、悪くても、追い風を受ける納豆。

### ■背景

- ・ 価格が安い。
- ・ 訪日外国人の増加※コロナ禍は除く。
- ・ 2013年日本食がユネスコの無形文化遺産登録
- ・ 2019年コロナウィルス発生（世界的健康意識増）
- ・ インターネットの普及でインフルエンサーによる拡散速度増と影響力



出典：日本政府観光局 source: Japan National Tourism Organization

日本人がコロナにかかりにくいので発酵食品を食べているかららしい。

納豆を食べると美肌になる



はまなす食品はこれからも、  
北海道から、日本から、健康を、ねばねばをこれからも世界へ向けて提供して  
いきたいとおもっております。

**この度はご清聴誠にありがとうございました。**

